

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2年後期	2	2	選択
担当教員			
天内 大樹			
添付ファイル			

講義概要	<p>芸術分野で繰り返し使われてきた言葉を運用できるようになり、またそうした言葉と造形との関係を考えてきます。第一に、一般的に言葉と造形を結びつける、具体的には造形または造形のイメージを言葉で描写練習を重ねます。第二に、美術・デザイン分野を形成してきた主に20世紀の蓄積と、21世紀の諸実践をもとに、造形に関連する概念・思想とそれに対する美学的・倫理的な議論を概観します。これを通じて、自分の、あるいは身の回りの人工物、造形物に込められた考え方を表現できるようになるのが目標です。最後に、に関して多少なりとも理論的な積み重ねを紹介し、インターネット上の動画視聴（限定公開）とフィードバックを中心とします。</p>		
授業計画	1	<p>イントロダクション 形を決める理由と美学 講師の背景、感性と美学の関係、美学成立の背景 人工物の形を決める多数の要因のうち、本講義で扱う要素を限定し、その歴史上および現状における意義を理解する。講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す。</p>	
	2	<p>形を言葉にする 客観性、観察眼、文脈 ものについての客観的な記述、ものを見る眼、複数の文脈の結節点としてのもの 形状を観察し言葉に表現するため、観察と推論の違い、観察眼の解像度、一つのもの造形に込められた複数の文脈といった考え方を理解する。複数の動画の末尾に文章構成とテーマに沿った読解の課題が設定され、作業後次の動画に進む。</p>	
	3	<p>形について語る 批評、文脈 批評、文脈、文脈主義 同じものをみて複数人が語り合うことで改善に結びつけるため、批評の輪を自ら立ち上げる、言葉を変え合うことの意義、および時代により重要とされる要素が変遷してきたことを理解する。講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す。</p>	
	4	<p>構成 形を決める要素1/主体を薄める要素1 構成、幾何学、グリッド 20世紀の人工物と芸術を特徴付ける、構成という概念と幾何学・グリッドの導入について、歴史的経緯と意義を理解する。講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す。</p>	
	5	<p>機能 形を決める要素2/主体を薄める要素2 機能と形、機能、装飾の機能 20世紀の人工物の特徴付ける、機能という概念の多義性について、歴史的経緯から理解する。講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す。</p>	
	6	<p>運動（イズム） 形を決める要素3/主体を強める要素1 運動、近代性（モデルニテ）、前衛 20世紀の人工物の特徴付ける、モダニズムおよびポストモダニズムについて、歴史的経緯と意義を理解する。講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す。</p>	
	7	<p>主体 形を決める要素4/主体を強める要素2 主体、表現、中動態 20世紀の人工物の特徴付ける、設計者の主体という概念について、歴史的経緯と意義を理解する。また、21世紀にかけて、この概念が揺るがされたことを、中動態という概念を通じて理解する。講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す。</p>	
	8	<p>現象 形を決める要素5/主客一体の要素1 現象（学）、透明性 現象という哲学上の概念、現象学的な批評のあり方を理解し、それが20世紀後半から21世紀にかけての造形に影響を及ぼしたことを理解する。講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す。</p>	
	9	<p>素材と手 形を決める要素6 /主客一体の要素2 工芸（クラフツマンシップ）、民藝 人類学的議論、および制作者の議論から、職人的技能や「芸術」の枠に囚われない製作、民藝を取り巻く現代的試みについての21世紀的考え方について理解する。講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す。</p>	
	10	<p>環境と商業主義 形を作る倫理1 計画的陳腐化、サステナビリティ 20世紀の人工物の特徴付けてきた商業主義的な造形論を理解しつつ、現代的な課題として環境問題を捉えるための視座を獲得する。講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す。</p>	

	<p>11 商業と多文化社会 形を作る倫理2 倫理とデザイン, 多文化主義, 民族性の展示 20世紀の人工物を特徴付けてきた普遍論と地域に根ざした議論との対比を理解しつつ, 現代的な課題として多文化主義に関わる視座を獲得する. 講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す.</p> <p>12 人間の分断 形を作る倫理3 権力とデザイン, 人を選ぶ都市装置 21世紀になってメディアを含めた人工物を特徴付けるさまざまな倫理的課題を理解しつつ, 現代的な課題として階級や少数者の権利に関わる視座を獲得する. 講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す.</p> <p>13 批評性 形を作る倫理4 クリティカル・デザイン, スペキュレイティブ・デザイン クリティカル・デザイン, スペキュレイティブ・デザインなど, 現代的な試みについて, その歴史的背景, および技術社会との関係について理解する, 講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す.</p> <p>14 アナロジー 発想する過程1 類比, 視覚的類比 発想の過程について認知科学の議論を理解しつつ, 特に言語を解した抽象化について理解する. 講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す.</p> <p>15 アブダクション 発想する過程2 論理学とアブダクション, 発想法 発想の過程について哲学の議論を理解しつつ, 特に発想における推論の過程について理解する. 講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す.</p>
授業形態	動画をを用いた講義. 講義で学習した概念を使用した小エッセイまたは関連した論題の文章についての要約を課す. アクティブラーニング: ①: 0回, ②: 0回, ③: 0回, ④: 14回, ⑤: 0回, ⑥: 0回
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 美術および人工物の造形について, 議論するための言語運用能力を獲得する.</li> <li>2. 20世紀以降の産業社会における人工物の造形要因について, 理解するための概念を獲得する.</li> <li>3. 現代社会に自らの造形がどのような面で影響を及ぼしうるか想定する視野を獲得する.</li> </ol>
評価方法・フィードバック	15回各々に, 講義内で出題される課題, または講義後に課される小エッセイ, または文章の要約が出題される(成績の100%). 原則として, レポート・小テスト等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する.
評価基準	上記目標1を達成することを最低限とし, 各回の課題への応答状況と内容から判断する. 目標2-3の達成度に基づいた評価点が100~90点であれば「秀」、89~80点であれば「優」、79~70点であれば「良」、69~60点であれば「可」、59点以下であった場合は「不可」とする。
教科書・参考書	特になし. 参考文献は講義内で随時紹介する.
履修条件	なし. ただし, 高校卒業程度の世界史(近代以降), 倫理(西洋近代, 現代)の知識があると理解しやすい.
履修上の注意	関連すると思われる書籍に積極的に目を通すこと. 一冊を読み通すより, まずたくさんの書物を手に取ることが奨励される.
準備学習と課題の内容	映像資料を必ず視聴し, 課題に取り組むこと. (毎回, 予習復習それぞれ1.5時間程度)
ディプロマポリシーとの関連割合(必須)	知識・理解: 30%, 思考・判断: 30%, 関心・意欲: 20%, 態度: 5%, 技能・表現: 15%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	